

当院で潰瘍性大腸炎の治療を受けられた方および人間ドックを受診された方へのお知らせ

杏林大学医学部消化器内科学教室および総合医療学教室では、杏林大学医学部倫理委員会の承認を得て、潰瘍性大腸炎に対するベドリズマブ（エンタイビオ[®]）の有効性に影響する要因を検討するための後ろ向き観察研究を行います。本研究では、杏林大学医学部付属病院で潰瘍性大腸炎に対してベドリズマブ（エンタイビオ[®]）の治療を受けられた方および対照として当院人間ドックを受診された方を対象といたします。

本研究の実施期間は杏林大学医学部倫理委員会承認後の2019年9月25日から2021年3月31日までの予定です。

- （1）本研究は、追加の検査や治療を行わない「後ろ向き観察研究」であり、既存の資料（各種検査結果を含む診療記録）を検討するものです。
- （2）個人が同定されうる情報は研究解析に用いません。
- （3）本研究に関する問い合わせ、研究への不参加を希望される方は、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。不参加を希望される方については、解析対象から情報を削除します。
- （4）研究への不参加が、今後の診療等に影響を及ぼすことはありません。

問い合わせ先：杏林大学医学部消化器内科学教室 学内講師 三好潤
電子メール：jmiyoshi@ks.kyorin-u.ac.jp
TEL: 0422-47-5511(内線 3656)
FAX: 0422-71-5381